

2025年版 受付開始！



2025

兵庫教区

仏婦手帳

¥600 (税込み)

「2025年版仏婦手帳」は、月ごとのカレンダーから始まり、心温まるご法話、お仏壇のお飾り、
仏婦活動の紹介、本願寺や神戸別院の法要行事など、充実の内容でお届けします。
み教えと共に歩む素敵な一日を始めるきっかけに、ぜひ手に取ってみませんか。
心よりお待ちしております。

【お届 け】11月上旬を予定（送料着払い）

【お支払い】お届けに併せ振込用紙を同封します（振込手数料注文者様ご負担）

ネット注文



<https://x.gd/2025TECHO>

郵送・FAX注文

(FAX: 078-341-8526)

ふりがな
お 名 前

送 付 先 (〒)

電話番号 ()

冊 数 _____ 冊

兵庫教区仏教婦人会連盟

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通8-1-1
TEL: 078-341-5949 Mail: hyogobuppu@gmail.com

裏面へ↓

1

2025

日

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13 成人の日

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

月

火

水

木

金

土

●神戸別院元旦会

■本山
元旦会・修正会

●神戸別院
阪神・淡路大震災
物故者総追悼法要

●御正忌報恩講法要

2

2025

日

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

月

火

水

木

金

土

●御正忌報恩講法要

11

ダーナ

できることから
はじめよう。

ダーナとは仏教語で「布施」(施し)のことです

仏教婦人会総連盟では

「慈悲のころ」「支えあうころ」「助け合うころ」を
実践する「ダーナ活動」を推進しています。

〔ダーナのはじまり〕

1965(昭和40)年5月に、第2回世界仏教婦人会大会で「慈悲のころ」をテーマとした。このとき《慈悲の心で平和を》がテーマとなり、このテーマを具体的に実行するために「布施の日」を定めました。物々両面からの布施を行い、この日に納められたに寄付することと決議されました。この決定を「ダーナ」をあててこのことを決めました。

〔活動の起こり〕

2月は「仏教婦人会連合本部」と称していた時代、本部九條武子様のご誕生の月にあたります。武子様の特に知られているのは、関東大震災の際、社会福祉ののそお志を胸に据え、微力ながらもご道志を受け継ぎ、ダーナの活動は2月がスタートとなりました。

〔だれにでもできるタ〕

ダーナとは仏教語で「布施」(施し)のことです。
法 施(真実の仏法を伝えぬか)
財 施(金品を分かち合う)
無 畏 施(恐れを除き、勇しと勇氣を授ける)
無 邪 施(思ひやり、ささあうころ)
などに分かれます。

なかでも無邪の七施は、いつでも、どこでも、だれでも、自分のできる範囲で実践できるもので、思いやりのある生き方を示すものです。

1. 施
2. 和
3. 慈
4. 喜
5. 心
6. 悲
7. 喜

〔献金の配布先〕

ダーナ献金は、目的に応じて国内外の様々な活動にお届けしています。

```

graph TD
    A[個人] --> D[仏教婦人会総連盟]
    B[お寺  
組織  
教務所] --> D
    C[単体会] --> D
    D --> E[↓]
    
```

- 人権擁護活動への支援
- ユニセフ(国連児童基金)指定寄付
- 災害復興活動への支援金
- 国内外への災害見舞金
- 貧困の克服に向けて取り組む
- ビハーク活動への参画
- 教育・環境保護活動への支援
- 宗門内外の社会福祉事業への支援

など

機関誌『めぐみ』のご案内

「めぐみ」は、仏教総連盟第1総会での「全国の会員が輪を広げてゆけるような機関誌がほしい」との願いをうけ、1952(昭和27)年4月の創刊以来、発行されている機関誌です。

「めぐみ」の由来は、九條武子様のご著書「無憂集」の中に、「光と離れて生き得ない光ともであるところに、他力蓮内のめぐみが降がれる。光のなかに生くる者は、最も恵まれた者である」とあるところからつけられました。

購読料 年間1,200円(送料含む)

年4回発行(6月・9月・12月・3月)

仏教婦人会総連盟事務局へお電話ください

☎ 075-371-5181(本願寺代表番号)

こ 法 話

誕生 ありがとう

「誕生おめでとう」
もいいけど
「誕生ありがとう」
の言葉を届けたい
(釈秀章)

「誕生日は、みんなから祝ってもらう日だと思ってい
るだろうけど、誕生日は、親に「生んでくれてありが
とう」という日だよ」
という文章に出遇って、はっとさせられたことがあり
ました。とても大切なことを教えられた気がしました。
そして、自分の誕生日には、「生んでくれてありがと
う」でいいけれど、他の人の誕生日には、「誕生おめ
でとう」でいいのだろうかと思いながらも、他の言葉
も思いつかずにいました。

私の尊敬する先生が亡くなられた時のことです。も
ちろん悲しいという気持ちもあったのですが、それよ